**おかやまの農林水産業　４年生　活用例　「蒜山高原の人々のくらし」**

1. **活用のポイント**

県内の特色ある地域の学習で蒜山を取り上げる際に，学校で扱っている副読本にプラスして農業や

畜産業の詳しい資料を調べることができる。

　　　〇ジャージー牛や牛乳の特徴（P.30～33）　〇蒜山だいこんの特徴（P.24）

**２．単元計画**

１時　岡山県で多くの人が訪れるのはどんなところか調べ学習問題をつくる

学習問題　どうして多くの人が蒜山高原をおとずれるのだろう

２時　多くの人が蒜山高原を訪れる理由を予想する

３時　蒜山高原の土地の様子や気候の様子を調べる

４時　蒜山高原の観光や交通について調べる

**５時　蒜山高原の自然を生かした特産品について調べる（本時）**

６時　蒜山の自然を守る活動や宣伝について調べる

７時　蒜山高原の魅力をまとめ，学習用端末を用いてプレゼンテーションに表す

**３．本時の展開例　第５時**

1. 学習問題から，前時までの学習をふり返り，本時のめあてを確かめる。

　　めあて　蒜山の特産品には，どんな特徴があるのだろう。

1. 学校で扱っている副読本や「おかやまの農林水産業デジタルブック」などで，ジャージー牛や

蒜山大根について調べる。

・「わたしたちの岡山県」P.74～75

・「みんなのおかやまけん」P.120～121「自然を生かした農業」

・デジタルブックP.30～33「（１）乳牛をかう農家」（ジャージー牛）

・デジタルブックP.24「ウ　だいこんをつくる農家」（蒜山大根）

1. 蒜山の特産品の特徴について話し合う。

・ジャージー牛は，ホルスタインと違って，乳成分が濃く，栄養のある牛乳として評判がよい。

・チーズやヨーグルト，スイーツも人気がある。

・お肉はおいしい成分をたくさん含んでいる。

1. ジャージー牛や蒜山大根の生産がさかんなわけを話し合う。

・夏とても涼しいので，乳の量が減らない。

・雨が適度に降るので，牧草がよく育つ。

・広い牧草地で運動させることで，体調もよくなり，乳の量も増える。

・夏の間にほし草やサイレージを作る工夫もしている。

・黒土とよばれる火山灰の土や夏の涼しい気候を利用できるため，大根づくりがさかん。

1. 本時のまとめをする。

蒜山高原の特産品は，夏の涼しさやちょうどいい降水量，広い牧草地や黒土などを生かして，

蒜山の気候や土地に向いているものを作っている。

**４．その他**

　　　P.30には，蒜山ジャージー牛の飼育の様子や，環境を生かした酪農などについて，動画(8分18秒)で

視聴することもできる。現地の自然の様子も見られ，文章資料の理解に役立てることができる。